



エコについての調査レポート

2009/8/4

株式会社ネットマイル
<http://research.netmile.co.jp/>

※本レポートについて、当社の許可なく無断転載・複写を禁じます。また、本レポートにかかわる損害賠償の責を一切負いません。
本レポートの転載、および一部引用が必要な場合には、お問い合わせフォームよりご連絡ください。

調査概要

調査タイトル:	エコについてのアンケート
調査手法:	インターネットリサーチ(ネットマイル会員による回答)
調査票種別:	Easyリサーチ
実施期間:	2009/7/15 17:00 ~ 2009/7/16 08:49
回答モニタ数:	500

ネットマイルではエコについて、2009年7月15日から2009年7月16日にかけてアンケート調査を実施した。

回答者の状況は「男性」「女性」各250名。年代は「20代」「30代」「40代」「50代以上」各100名。婚姻状況は「未婚」が57.6%、「既婚」が42.5%。居住地域は「北海道・東北地区」が10.4%、「関東地区」が39.2%、「北陸・甲信越地区」が6.2%、「東海地区」が11.4%、「近畿地区」が17.2%、「中国地区」が4.4%、「四国地区」が3.0%、「九州・沖縄地区」が8.2%であった。

回答の結果から、エコに「関心がある」と回答した人は8割以上に達した他、環境への関心度は男性よりも女性の方が高めであるということがわかった。

また、環境関連の項目で認知度が最も高かったのは「3R(リデュース・リユース・リサイクル)」で6割近く、とりわけ「10代」では7割以上とかなり高めであった。

この他、エコ活動に取り組む理由として、エコに対する関心度が高い層ではエコ活動に対する強い使命感や目的意識、積極的な姿勢がうかがえ、反対にエコに対する関心度が低い層では、漫然とエコ活動に取り組んでいる様子が推測される結果であった。

以下、それぞれの回答結果についてレポートする。

8割以上が“エコに関心あり”

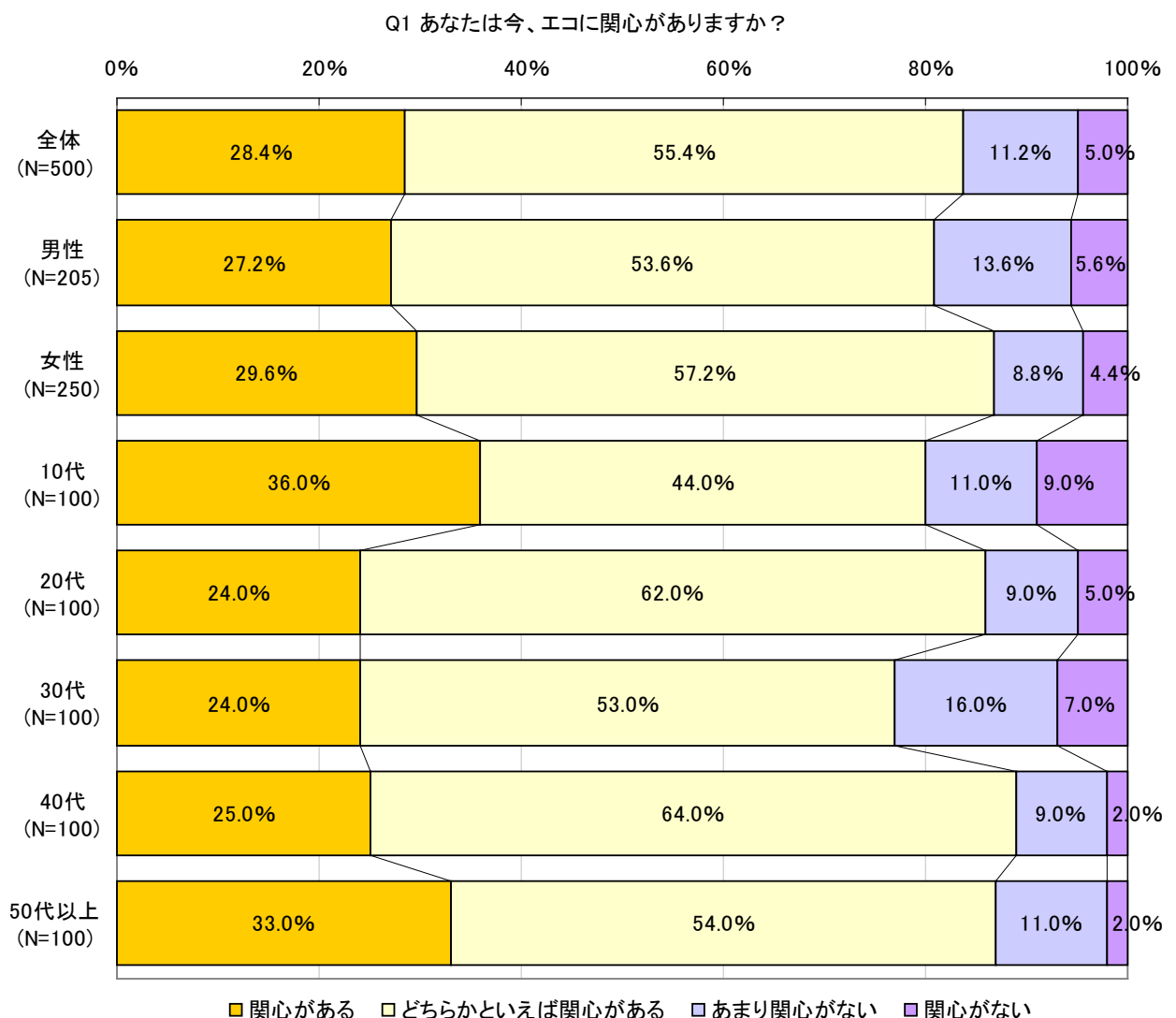
「あなたは今、エコに関心がありますか？」という質問を、「関心がある」から「関心が無い」までの4段階評定でおこなった。

全体では、「関心がある」28.4%と「どちらかといえば関心がある」55.4%をあわせた“エコに関心あり”の回答率が83.8%、「あまり関心がない」11.2%と「関心がない」5.0%をあわせた“エコに関心なし”の回答率が16.2%と、8割以上の方がエコに対して何かしらの関心を持っているという結果であった。

男女別にみても、“エコに関心あり”は「男性」80.8%、「女性」86.8%と女性のほうがエコへの関心は若干高いようだ。

年代別にみても、“エコに関心あり”は「10代」は80.0%、「20代」は86.0%、「30代」は77.0%、「40代」は89.0%、「50代以上」は87.0%であった。

また、2008年11月にネットマイルでおこなった同様の調査では、“エコに関心あり”が85.0%、“エコに関心なし”が15.0%となっており、今年度のほうが“エコに関心あり”の回答率がわずかに下回る結果となった。



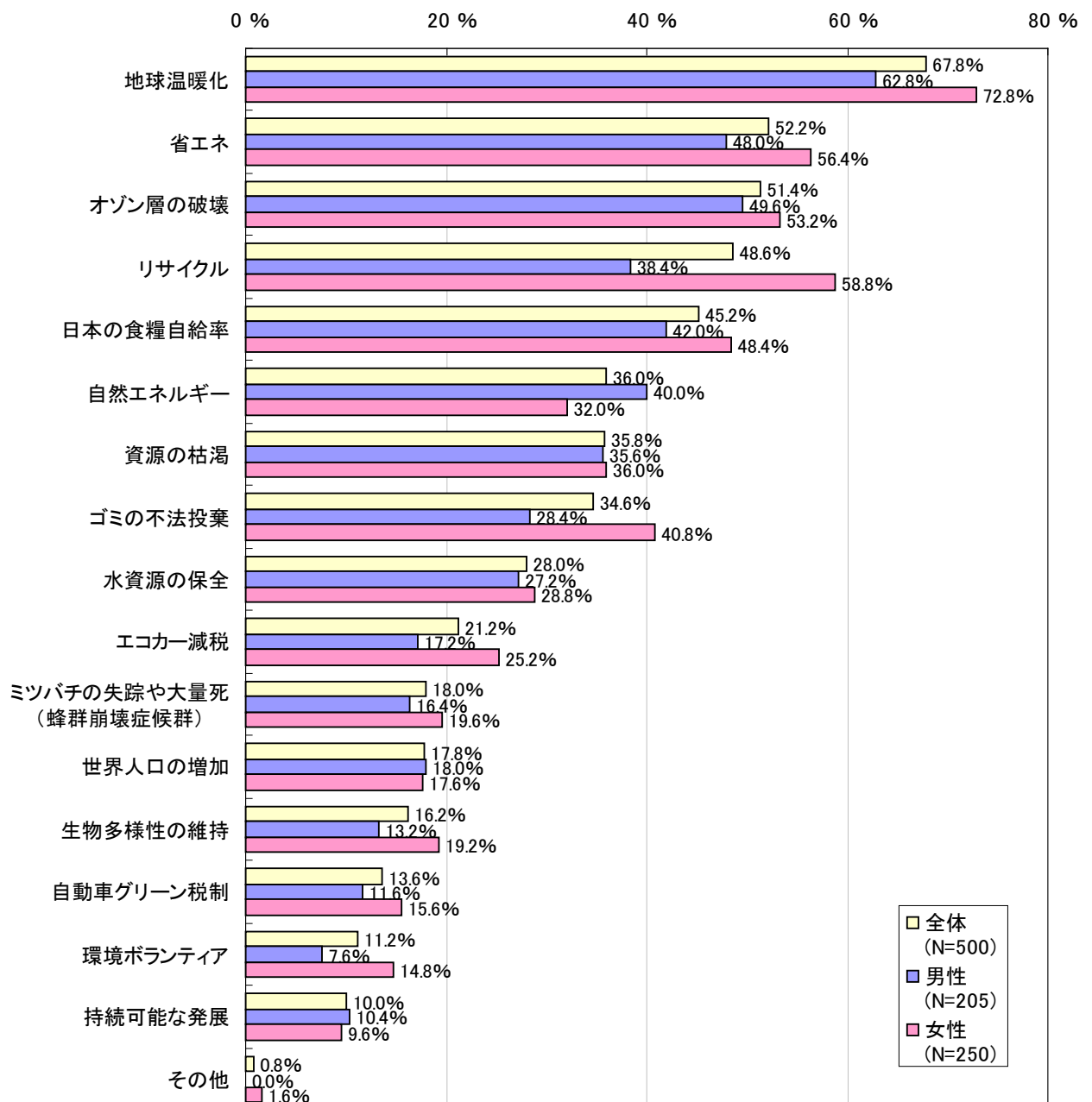
環境への関心度は男性よりも女性の方が高め

「環境関連の項目で関心が高いものは何ですか？あてはまるもの全てにお答えください。」という質問を複数回答でおこなった。

全体では1位が「地球温暖化」67.8%、2位が「省エネ」52.2%、3位が「オゾン層の破壊」51.4%、4位が「リサイクル」48.6%、5位が「日本の食糧自給率」45.2%であった。

男女別では、ほぼ全ての項目で女性の回答率が男性の回答率を上回っており、男性よりも女性の方が環境への関心度が高い様子がうかがえた。特に「リサイクル」(男性:38.4%、女性:58.8%)、「地球温暖化」(男性:62.8%、女性:72.8%)、「ゴミの不法投棄」(男性:28.4%、女性:40.8%)といった項目で男女の回答率に大きな差が見られた。また、順位は多少前後するものの上位5位までに挙げた項目は08年度の調査と同じであった。

Q2 環境関連の項目で関心が高いものは何ですか？



認知度1位は「3R(リデュース・リユース・リサイクル)」で6割近く、 「10代」では7割以上とかなり高め

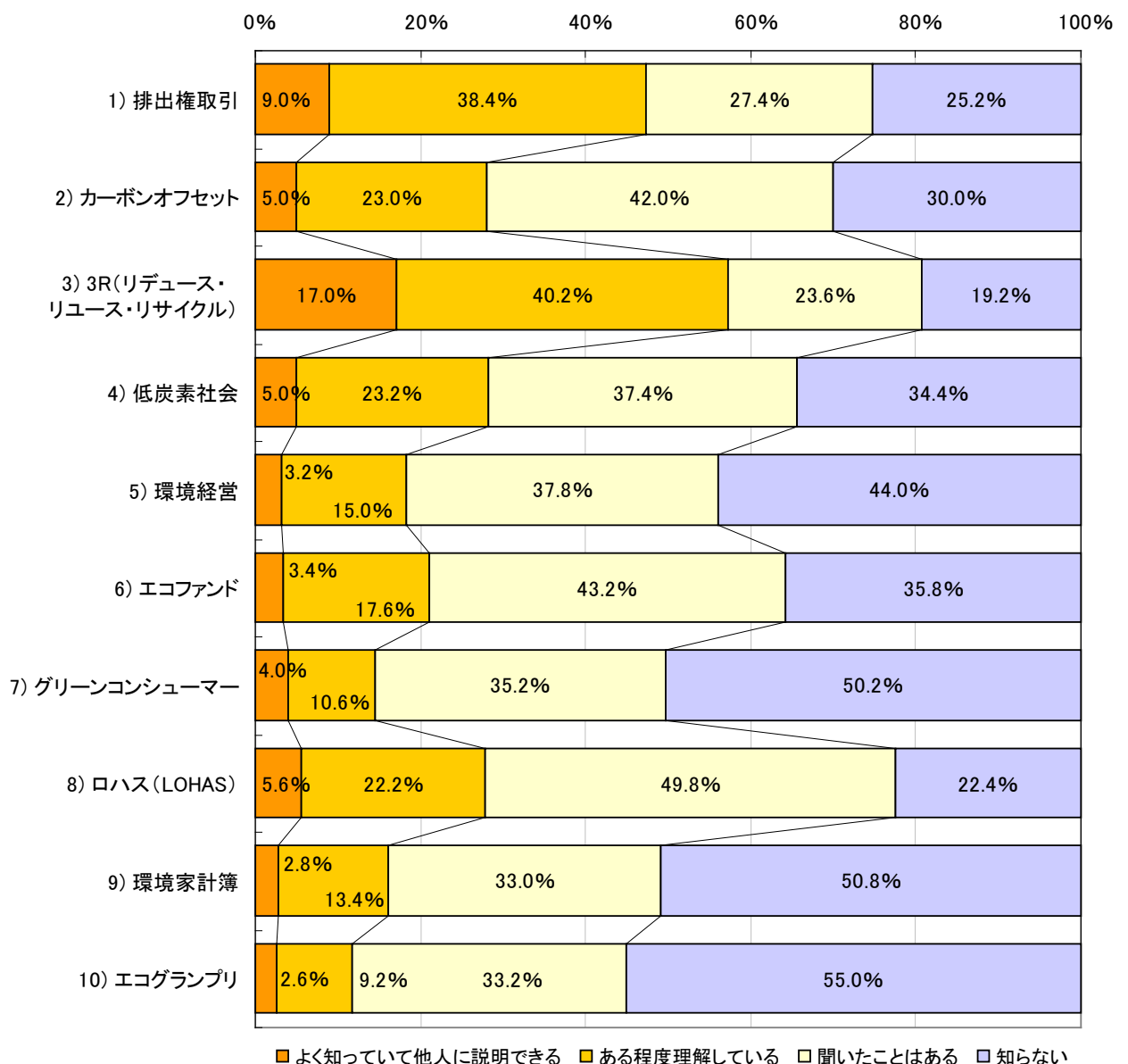
「環境問題やエコに関する用語や事柄についての認知度をお伺いします。」という質問を10項目にわたって、「よく知っていて他人に説明できる」から「知らない」までの4段階評定でおこなった。

10項目を比較すると、「よく知っていて他人に説明できる」と「ある程度理解している」をあわせた“理解している”については、「3R(リデュース・リユース・リサイクル)」が6割近くと最も高く、次いで「排出権取引」が半数近くに達し続いた。

一方「知らない」については、「エコランプリ」が55.0%、「環境家計簿」が50.8%、「グリーンコンシューマー」が50.2%と半数を超える結果となった。

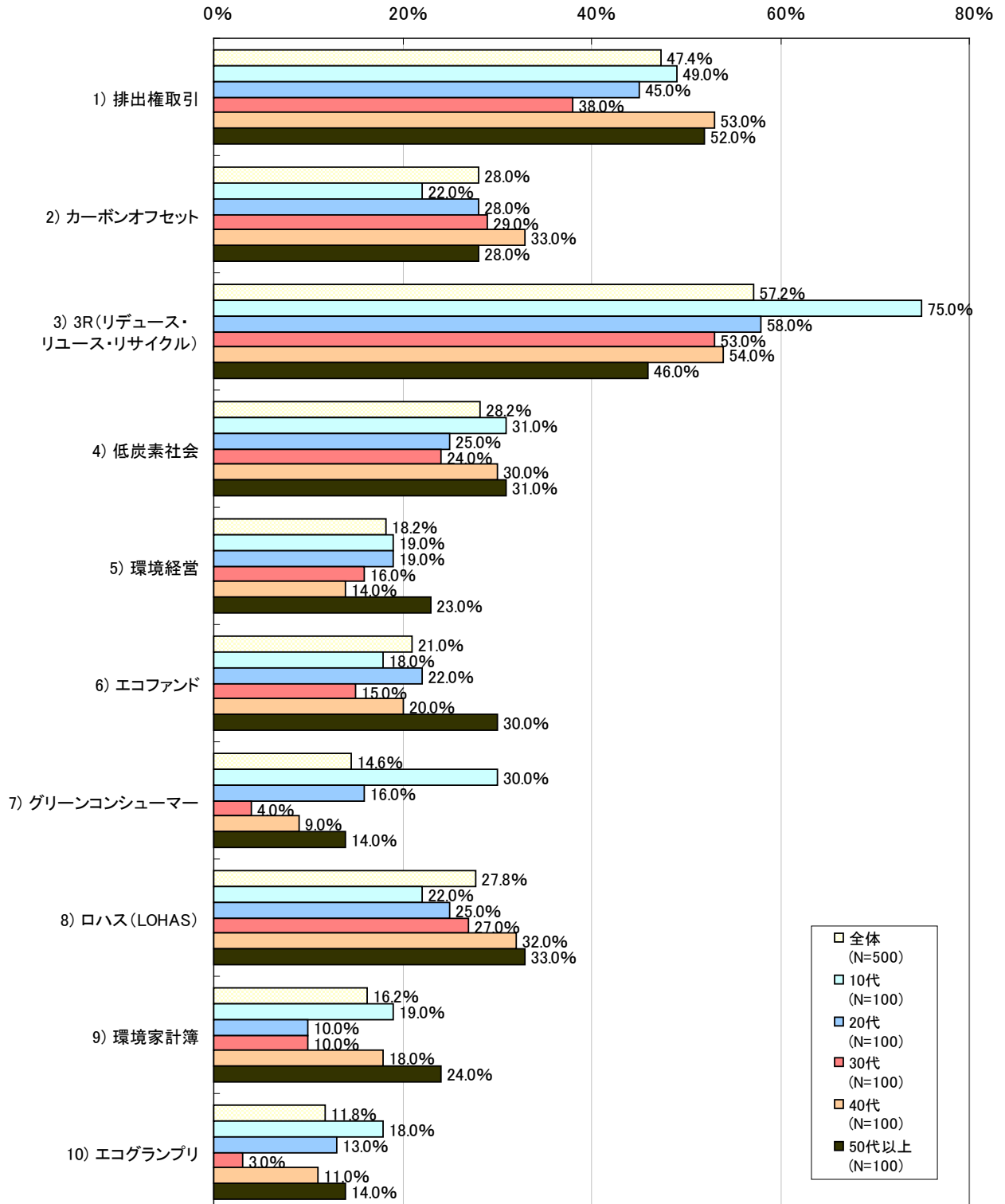
年代別にみても、「3R(リデュース・リユース・リサイクル)」や「グリーンコンシューマー」では「10代」の回答率が他の年代に比べかなり高かった。また「ロハス(LOHAS)」では年代が上がるにつれ回答率が高くなる傾向がみられた。

Q3 環境問題やエコに関する用語や事柄についての認知度をおうかがいします。



認知度1位は「3R(リデュース・リユース・リサイクル)」で6割近く、 「10代」では7割以上とかなり高め

Q3 環境問題やエコに関する用語や事柄についての認知度を教えてください。



40代・50代以上で積極的なエコ

「環境に関する事柄やエコについて、あなたが日頃行っている事は何ですか？」という質問を【電気・ガス・水道関連】【乗り物・交通】【ライフスタイル】【その他意識など】の4つの分類にわたり複数回答でおこなった。

【電気・ガス・水道関連】

電気・ガス・水道関連では、1位が「冷暖房の温度設定に気をつける」(56.4%)、2位が「冷暖房の利用時間を短くする」(43.2%)、3位が「熱いものは必ず冷ましてから冷蔵庫に入れる」(37.8%)、4位が「晴れた日は乾燥機を使用せず天日干しする」(37.2%)、5位が「冷蔵庫の開扉時間を短くする」(35.8%)という結果で、手軽におこなえる項目が上位を占めた。

【乗り物・交通】

乗り物・交通関連では、1位が「外出時は自転車か公共の乗り物を優先する」(24.8%)、2位が「急発進やからぶかし、急ブレーキ、アイドリングをしない」(24.2%)であった。一方、「車に乗るときはタイヤの空気圧を確認する」(7.8%)、「ハイブリッドカーに乗る」(2.0%)、「カーシェアリングをする」(0.8%)などの手間や費用のかかる項目は1割を下回った。

【ライフスタイル】

ライフスタイル関連では、1位が「エコバッグ(マイバッグ)を持ち歩く」(54.2%)、2位が「ゴミの分別を徹底する」(53.0%)、3位が「食事の食べ残しをしない」(44.6%)、4位が「リサイクルを心がける」(43.8%)、5位が「過剰包装を断る」(35.4%)であった。

ライフスタイルにおけるエコも電機・ガス・水道関連と同様に比較的实践しやすい項目が上位を占めたが、唯一「マイ箸を持ち歩く」(7.4%)については1割を下回る結果であった。

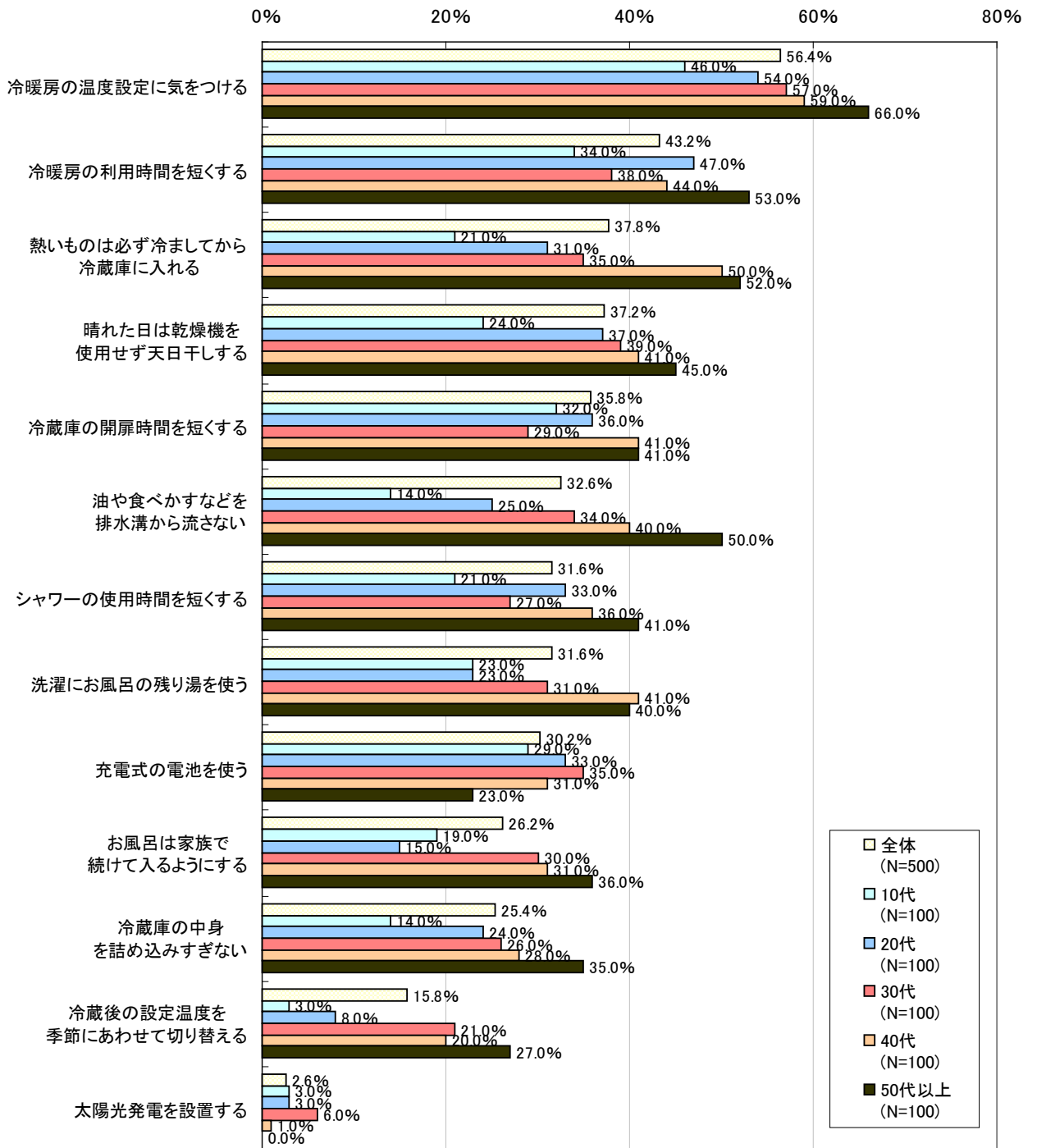
【その他意識など】

電気・ガス・水道関連、乗り物・交通、ライフスタイル以外に12項目について質問したところ、1位が「家電を選ぶ際に、消費電力や省エネ基準達成率を参考にする」(23.2%)、2位が「クールビズ・ウォームビズを取り入れる」(18.6%)、3位が「同じ種類の商品・製品を扱っているならば、環境に配慮しているお店を選ぶ」(12.0%)であった。

4分類をまとめてみると、電気・ガス・水道関連、ライフスタイルに関する項目が上位を占める結果であった。また、多くの項目で40代・50代以上の回答率が高い傾向にあり、比較的上の世代において積極的なエコ行動ができている様子がうかがえた。

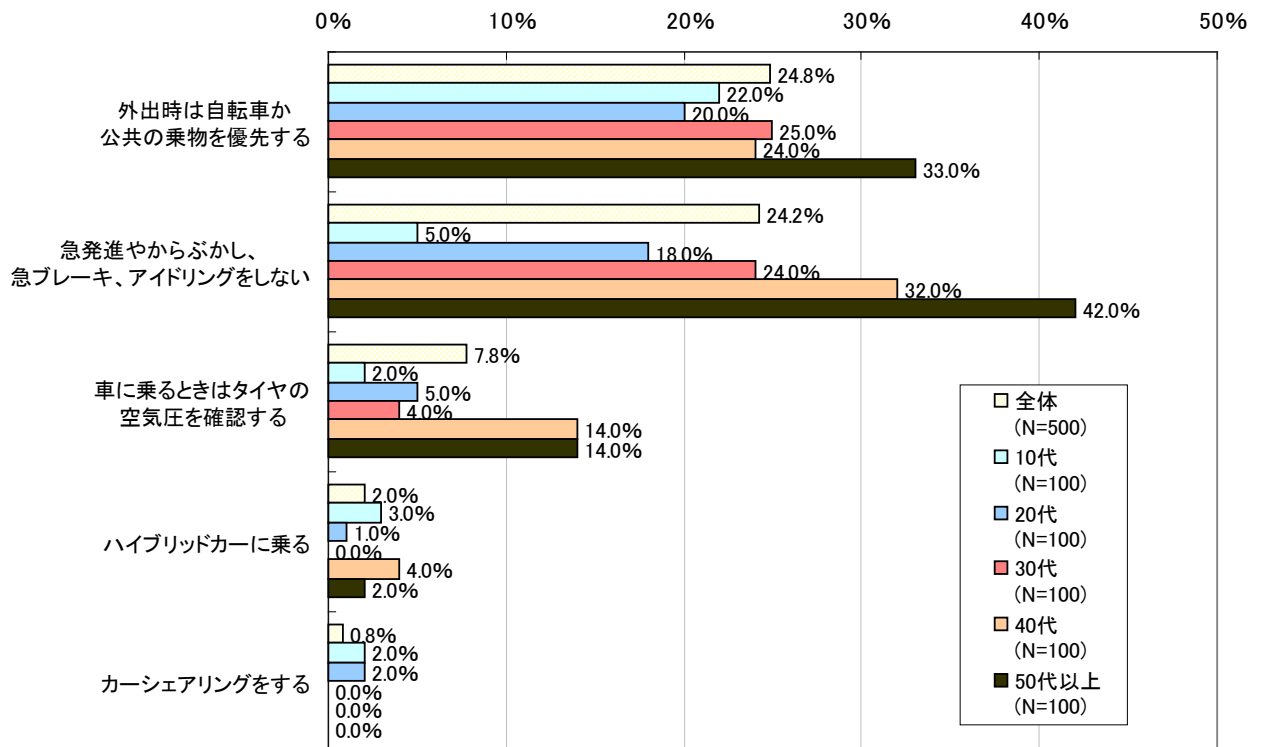
40代・50代以上で積極的なエコ

Q4 環境に関する事柄やエコについて、あなたが日頃行っている事は何ですか？
【電気・ガス・水道関連】



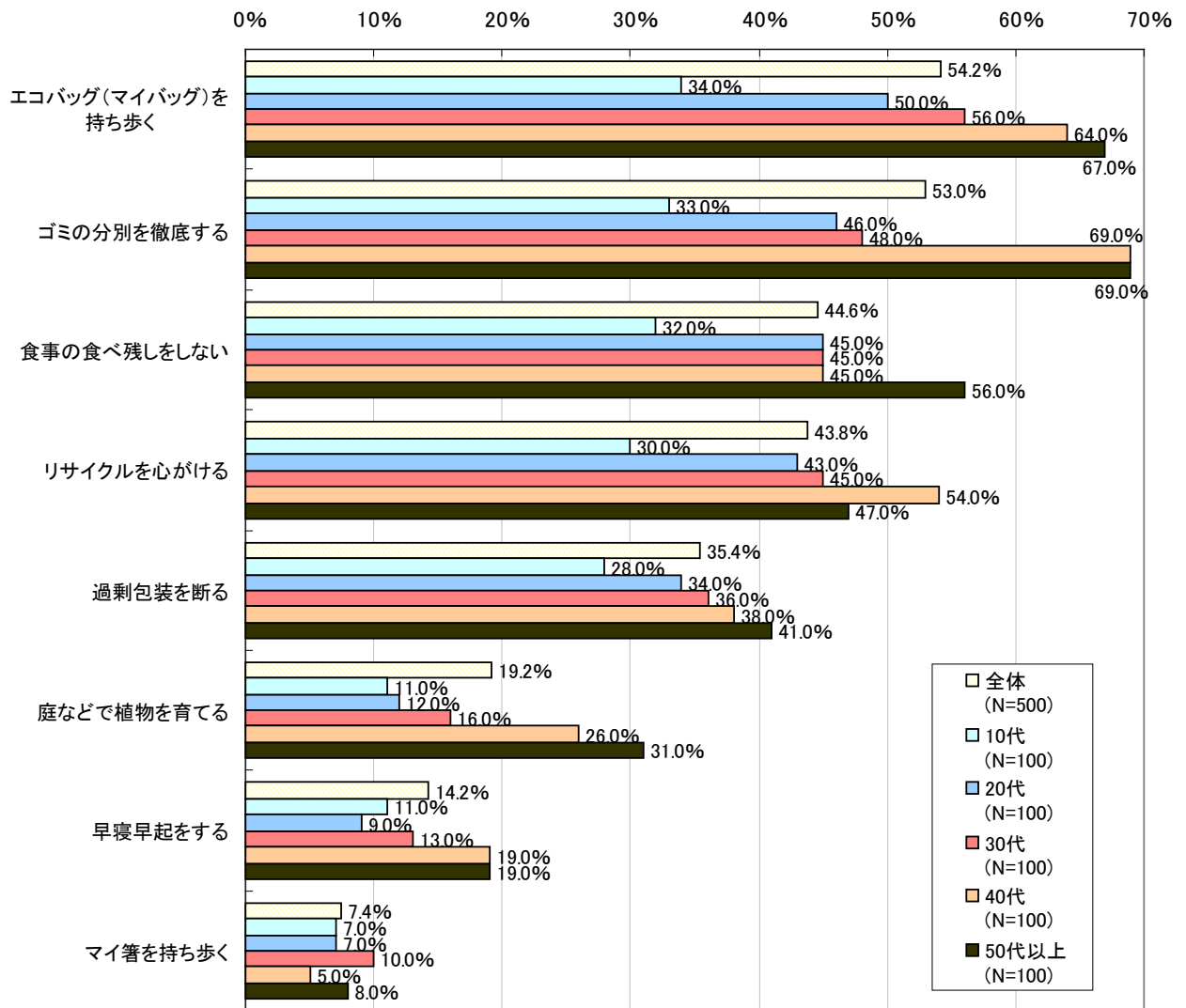
40代・50代以上で積極的なエコ

Q4 環境に関する事柄やエコについて、あなたが日頃行っている事は何ですか？
【乗り物・交通】



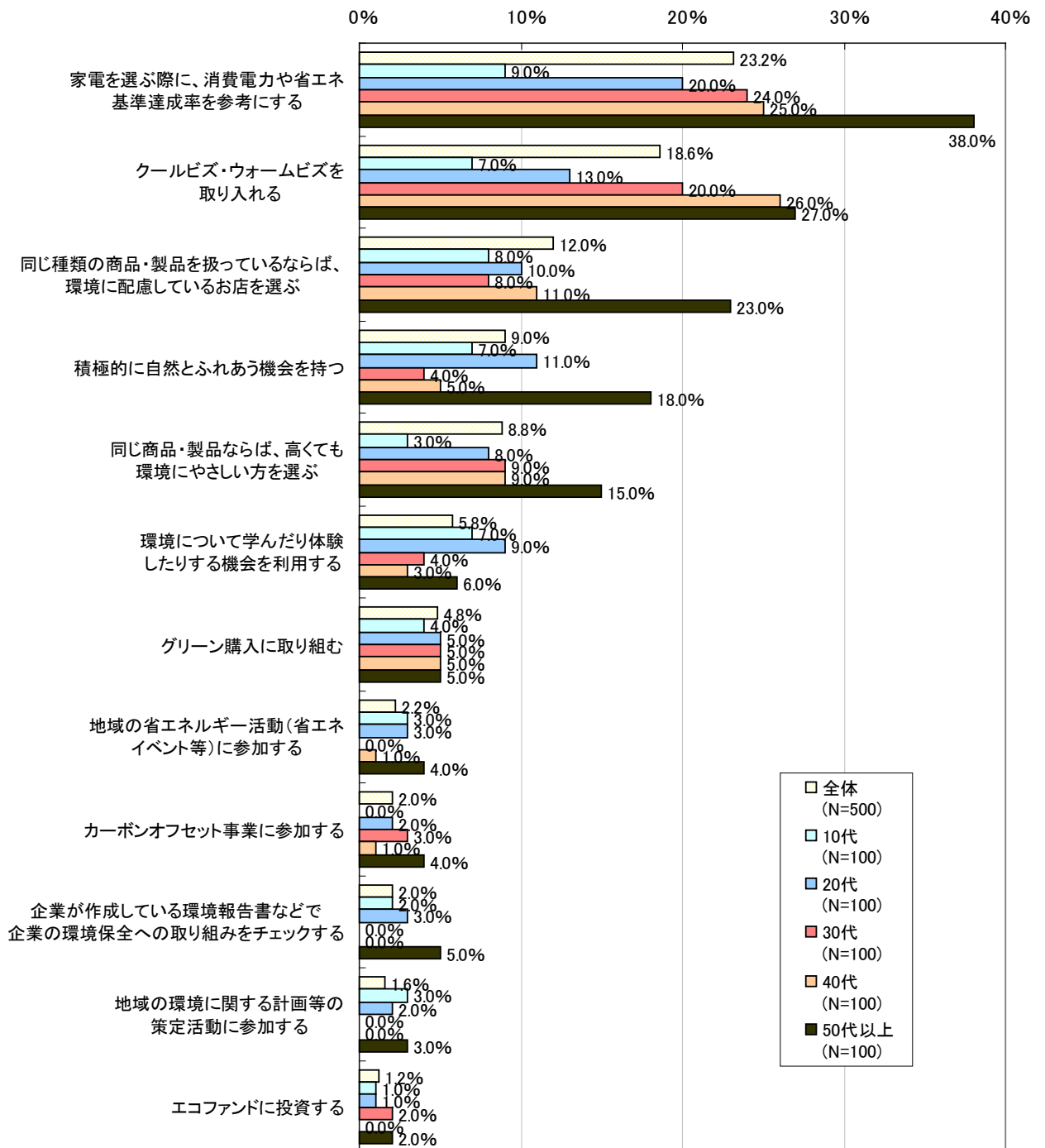
40代・50代以上で積極的なエコ

Q4 環境に関する事柄やエコについて、あなたが日頃行っている事は何ですか？
【ライフスタイル】



40代・50代以上で積極的なエコ

Q4 環境に関する事柄やエコについて、あなたが日頃行っている事は何ですか？
【その他/意識など】



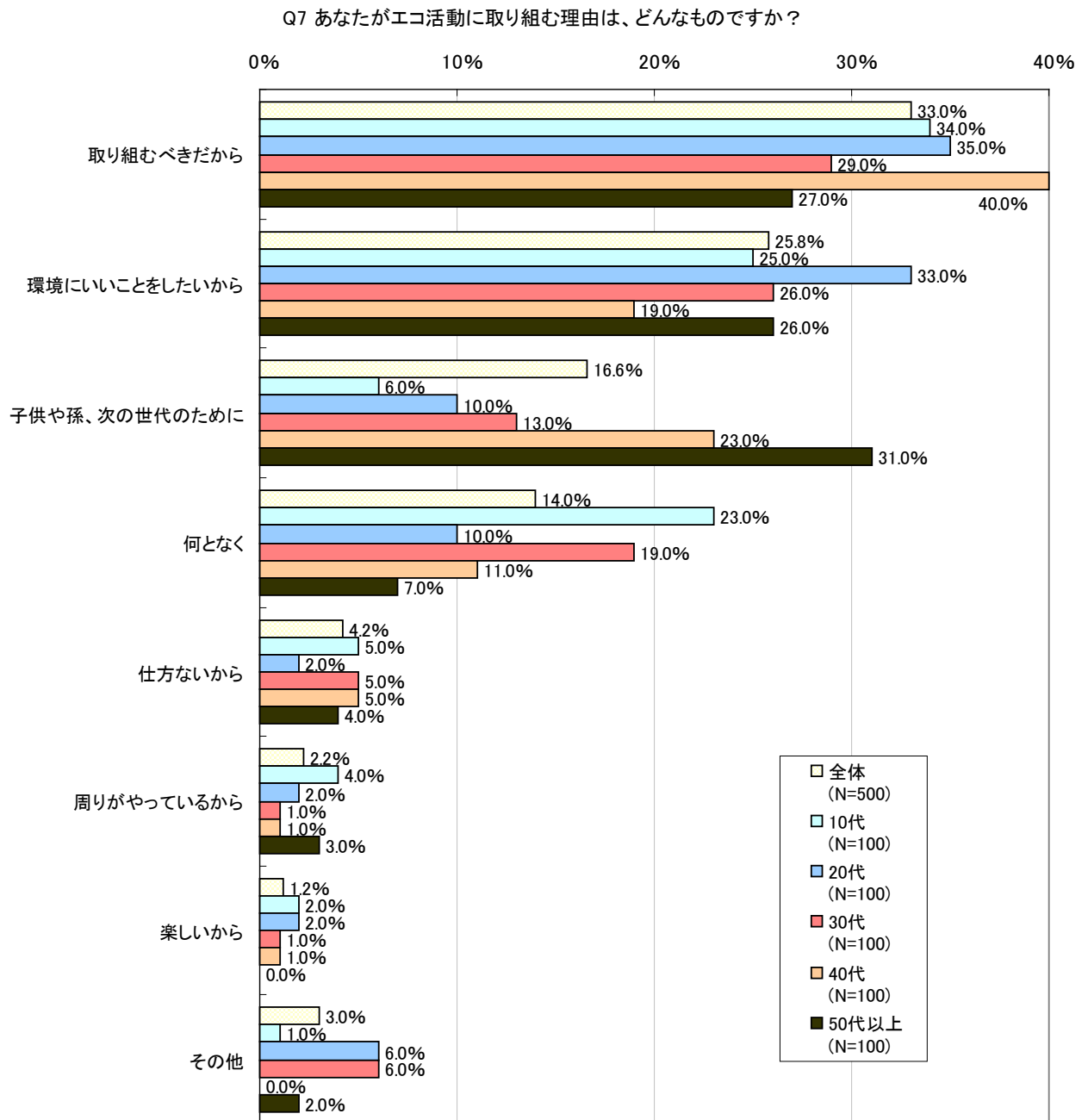
エコ活動に取り組む理由1位は「取り組むべきだから」で3割以上

「あなたがエコ活動に取り組む理由は、どんなものですか？」という質問をおこなった。全体では、「取り組むべきだから」の回答率が33.0%と最も高く、次いで「環境にいいことをしたいから」が25.8%、「子供や孫、次の世代のために」が16.6%と続いた。年代別に特徴的な項目をみると、「子供や孫、次の世代のために」では年代が上がるにつれ回答率が高くなり、「50代以上」では3割を超える結果であった。

また、エコに対する関心度別にみると、“エコに興味あり”と“エコにやや興味あり”では「取り組むべきだから」や「環境にいいことをしたいから」の回答率が“エコに興味なし”を大きく上回った。一方で、“エコに興味なし”では「何となく」の回答率が圧倒的に高く4割以上であった。

エコに対する関心度が高い層では、エコ活動に対する強い使命感や目的意識、積極的な姿勢がうかがえ、反対にエコに対する関心度が低い層では、漫然とエコ活動に取り組んでいる様子が推測される結果であった。

エコ活動に取り組む理由1位は「取り組むべきだから」で3割以上



エコ活動に取り組む理由1位は「取り組むべきだから」で3割以上

Q7 あなたがエコ活動に取り組む理由は、どんなものですか？

